

お金を稼ぐ(働く), 税金, 社会保険・民間保険

日本だけでなく世界的にも長寿化が進み、今や「人生100年時代」といわれています。長い人生を生き抜くための、お金の稼ぎ方・働き方について考えたことがありますか？



「人生100年時代」だし、いろんな働き方があるんじゃない？



副業や兼業を解禁する会社が増えてきたって聞くけど、どうしてなのかな？



でも、そんな長い間、働けるかなあ…？



会社に勤めるだけでも、いろいろな働き方があるよ。



I お金を稼ぐ(働く)

1 一生のうちで稼げるお金はどれくらい？

Think! 会社員(給与所得者)の平均年収はどのくらい？

A 約759万円

B 約545万円

C 約458万円

みなさんは、会社員のお給料がどのくらいだと思いますか？

国税庁の「令和4年分 民間給与実態統計調査」によると、給与所得者の平均年収は458万円です(正解はC)。男女別では、男性563万円、女性314万円、正社員(正職員)とそれ以外の別にみると、正社員(正職員) 523万円、正社員(正職員)以外201万円など、給与等の金額は、性別や雇用形態^{*}、業種、会社規模によって大きく変わります。会社員の場合、この勤務先からの給与やボーナス(賞与)が主な収入源となり、男性が高校卒業後フルタイムの正社員を60歳まで続けた場合の生涯賃金は、約2億円となっています。

※会社と従業員が結ぶ雇用契約の種類のこと。

生涯賃金の比較

学歴	男性	女性
高校卒	2億300万円	1億4,900万円
大学卒	2億4,700万円	1億9,800万円

※退職金は含まれておりません。

出所：独立行政法人労働政策研究・研修機構「ユースフル労働統計 2023」

2 いろいろな働き方

近年、日本の15歳以上の人(約1億1,000万人)のうち、働いている人は約6,700万人です。このうち、会社員や公務員など、雇われている人は、約6,000万人と約9割を占めています。会社員や公務員以外にも、自由業・自営業、起業・独立開業など、さまざまな働き方があります。

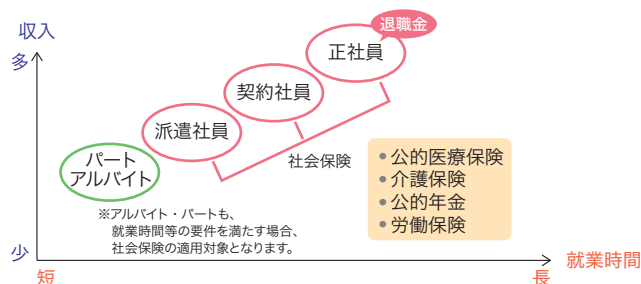
Think! 自分が将来やってみたい働き方を1つ選んで○を付け、その理由を書き出してみよう。

働き方	会社員	公務員	自由業・自営業	起業・独立開業	その他
希望する働き方	()	()	()	()	()
理由					

3 会社に勤める

会社に勤める場合、働き方(雇用形態)によって正社員、契約社員、派遣社員、アルバイト・パートなどに分かれます。

会社の雇用形態の例



Think! 雇用形態2つを選んでメリット・デメリットを書き出してみよう。

雇用形態	()	()
メリット		
デメリット		



ミニワーク

自分の、①希望する進路の生涯賃金(p.12参照)と②働きたい地域の最低賃金を確認しよう。

厚生労働省「地域別最低賃金の全国一覧」▶



プラス ONE

「働き方改革」とは

働き方改革とは、一億総活躍社会を実現することを目的として、働く人が個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で選択できるようにするための改革です。「長時間労働の解消」「正規雇用と非正規雇用の格差是正」「高齢者の就労促進」が最重要課題として取り上げられています。



II 税金

1 給与明細を見よう

社会に出て、会社員や公務員として働くと、給与が支給されます。しかし、会社から支払われる額をすべて受け取れるわけではありません。そこから、**税金**や**社会保険料**が差し引かれます。

給与明細の見方

給与明細には、支給額や控除額の内訳が書かれています。それぞれの項目の内容や金額をしっかりと確認することが大切です。

給与明細(例)

※給与明細の書式は会社によって異なります。

社会保険料
(介護保険料は、40歳から差し引かれる)

(単位：円)

支給		控除	
項目	金額	項目	金額
基本給	170,000	①健康保険料	9,348
時間外手当	13,500	②介護保険料	0
通勤手当	9,400	③厚生年金保険料	17,385
		④雇用保険料	579
		⑤所得税	3,550
		⑥住民税	8,875
総支給額	192,900	控除額総計	39,737
		差引支給額	153,163

給与明細を見て、何が控除されているか確認しましょう。



税金
住民税は、前年の収入金額を基に計算される

2 可処分所得とは？

実際に自分が使えるお金を**可処分所得(手取り)**といい、次のように計算できます。

給与明細の①～④が**社会保険料**です。⑤の**所得税**は、個人の1年間の所得(利益)にかかるものです。また、⑥の**住民税**は、その年の1月1日現在、住所を有する都道府県や市区町村に納付する税金です。

$$\text{収入 (総支給額)} - \text{社会保険料・所得税・住民税 (控除額総計)} = \text{可処分所得 (差引支給額)}$$

1年間の可処分所得の年収に対する割合(可処分所得比率)は、一般的に70～80%で、年収が上がると可処分所得比率は下がっていきます。つまり、手取り金額の割合が少なくなるわけです。

3 私たちと税金の関わり

みなさんにとって最も身近な税金といえば、**消費税**かもしれません。しかし税金には消費税や所得税、住民税以外にも、法人税や相続税、贈与税など、さまざまな種類があります。では、どうして税金を負担しなければならないのでしょうか？

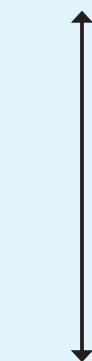
私たちの身の回りには、私たちが豊かで安全・安心に暮らしていくために、道路などの公共施設やごみ処理などの公共サービスが数多く存在しています。こうした公共施設等は、所得の高低に関わりなく、誰もが利用できる公共財として、民間企業ではなく政府や地方公共団体が提供しています。

そして、そのために要する費用は「**税金**」という国民の負担によってまかなわれており、法律により定められています(租税法律主義)。みなさんが、小学校や中学校で使った用品や施設のほか、教科書の無償配付などにも、税金が使われています。

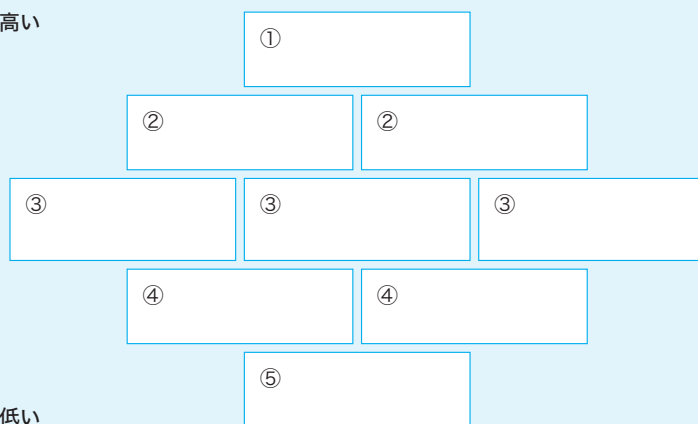
ミニワーク

以下に示したA～Iの「税の使い方」9つについて、あなたが思う重要度や必要度に応じてランキング(順位付け)し、上から最も優先順位が高いものを1つ、2番目を2つ、3番目を3つ、4番目を2つ、最も低いと思うものを1つ選んでダイヤモンド型に配置し、理由を書いてみよう。また、みんなで話し合ってみよう。

優先順位が高い



優先順位が低い



税の使い方

- A 医療・介護
- B 環境対策
- C 教育
- D 景気対策
- E 子育て支援
- F 公共事業
- G 災害対策
- H 治安
- I 年金

(東京都租税教育推進協議会「私たちの未来を考える～税を通して持続可能な社会の在り方を考えよう～」を基に作成)

・理由

プラス
+ONE

消費税率の引き上げ分は何に使われるの？

2019年10月に消費税率が8%から10%に引き上げられました。増収分は、すべて社会保障の財源となります。これは「社会保障と税の一体改革」の一環であり、私たちの社会保障を財政的・仕組み的に安定させることで、だれもが安心して利用できるようにするためです。

消費税が選ばれた理由は、現役世代など特定の世代に負担が集中しないこと、税収が景気などの変化に左右されにくく、企業の経済活動にも中立的であることなど、社会保障の安定財源として適しているからです。



Ⅲ 社会保険

1 社会保険とは？

Think! 下の内容に当てはまると思う社会保険の名称を線でつないでみよう。

- A 通学の途中でケガをしたときに、病院で治療が受けられる
 - B 病気やケガで障害を負った場合に年金が受け取れる
 - C 65歳以上で認知症や寝たきりになった場合に生活の援助等が受けられる
- • 介護保険
 - • 健康保険
 - • 公的年金

日々の生活のなか、病気で入院費や治療費がかかったり、部活や通学中に大きなケガをして障害が残ったり、保護者が失業したり、さまざまな困りごとや危険が起きることがあります。このようなりスクに対して、事前にお金(保険料)を出し合って、経済的な損失を被った人にお金を渡す相互扶助の仕組みが**保険**です。

保険には、大きく分けると、主に政府が運営して国民が必ず加入する**社会保険(公的保険)**と、民間企業が運営して必要に応じて加入する**民間保険(私的保険)**とがあります。

2 社会保険の種類

社会保険には、公的医療保険、介護保険、公的年金、労働保険などがあり、病気やケガ、死亡、老齢、業務災害、失業などのリスクが起きた場合、その保険に加入している人やその家族に保険給付を行います。このなかで、みなさんがよく利用するのは公的医療保険かもしれませんね。公的医療保険制度には、社員が加入する**健康保険**、公務員などが加入する各種共済、自営業者・自由業者などが加入する**国民健康保険**があります。

国民全員が公的医療保険に加入していることで、病気やケガをしたとき、病院の窓口で一定の自己負担分(小学校就学後から70歳未満までは3割)を支払えば、診察や検査、治療などが受けられます。これを**療養の給付**といいます。

この給付は、医療サービスという現物が支給されるので**現物給付**です。一方、病気やケガなどで会社を休んだときの**傷病手当金**や出産したときの**出産手当金**、**出産育児一時金**などは、現金が支給される**現金給付**となっています。これらの現金給付は、申請しないと支給されません。

社会保険って難しそう。何か起きたら調べればいいんじゃない？



出産したらお金がもらえるなんてうれしい!!



自分がどんな社会保険を使えるか、知っておかなくちゃ!



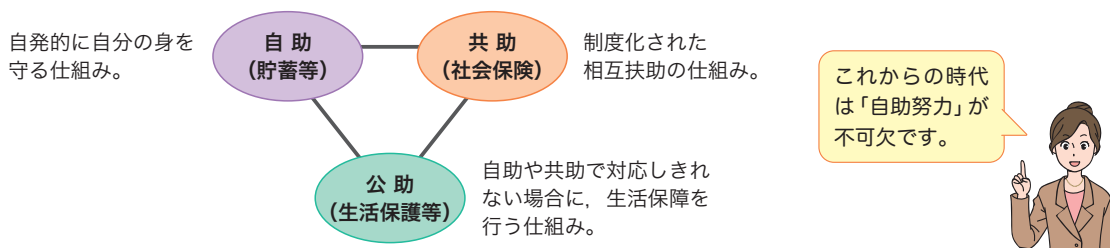
3 職業などによって異なる社会保険

社会保険は、職業などの条件によって、加入する種類が異なります。

	公的医療保険	公的年金	労働保険	
			雇用保険 (失業した場合に失業 手当が受けられる)	労災保険 (業務上・通勤中の 病気やケガに対する 給付が受け取れる)
会社員	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	労働者災害補償保険
公務員・教職員等	各種共済(短期給付)		—	各種共済(短期給付)
自営業者やその配偶者	国民健康保険	国民年金	—	—

4 自助、共助、公助の仕組み

自助、**共助**、**公助**という言葉があります。もともとは、災害時の防災の観点から使われているものですが、社会保険分野でも用いられる考え方です。



公助の代表的なものが**生活保護制度**です。これは、生活が困窮している人に、憲法第25条で定められた「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するとともに、自立を促す支援をするためのものです。つまり、生活保護は、国民相互の助け合いの精神に基づき、病気やケガ、失業などで経済的に困窮する人を対象に、一時的に必要な支援をするためのセーフティネットなのです。

ミニワーク

健康保険からどのような給付が受けられるか調べてみよう。

全国健康保険協会(協会けんぽ) ▶



プラス
+ONE

学生でも20歳になったら国民年金に加入

日本国内に住む20歳から60歳までの人は、国民年金に加入する義務があります。学生で収入がなくても国民年金の保険料を納めなくてはいけません。納付が難しいときは**学生納付特例制度**の申請をしておきましょう。もし、この申請をしないで保険料を滞納すると、将来の老齢年金だけでなく、万が一、病気やケガで障害状態になったときも障害年金が支給されません。

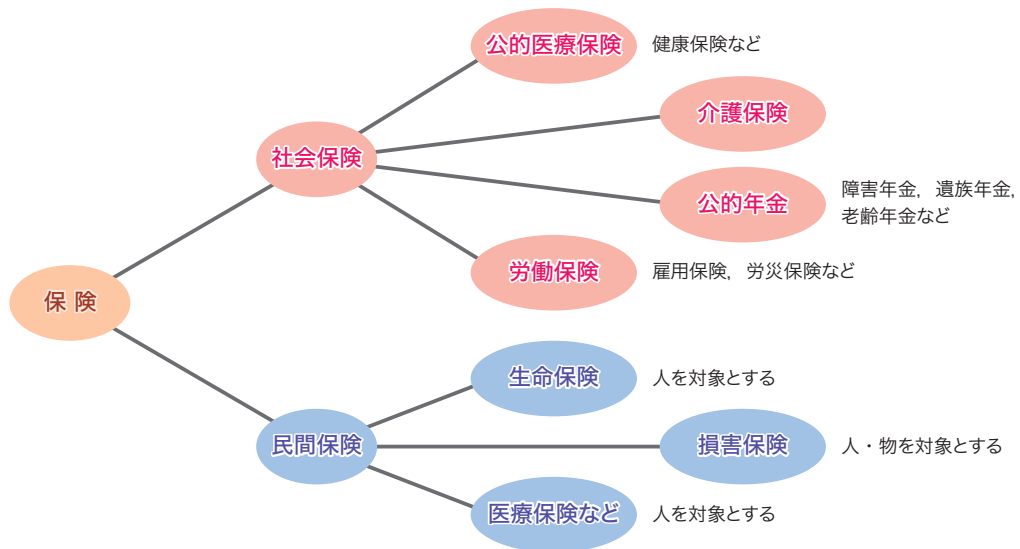


IV 民間保険

1 2つの保険と民間保険の役割

p.16で学習したように、保険は、すべての国民が加入を義務付けられている**社会保険(公的保険)**と任意で加入する**民間保険(私的保険)**に分かれています。このうち社会保険は、憲法に基づき保障が国民全体に広く行き渡るように定められています。

しかし、一人ひとり家族構成や環境、ライフスタイルは異なるわけですから、全く平等というわけにはいきません。そこで、社会保険を補完する目的で**民間保険**が存在しています。



社会保険と民間保険の違い

	加入条件	保険料	保険金(保障内容)	その他(見直し・解約)
社会保険	強制加入	所得によって一定	法律によって一定額	不可
民間保険	任意加入	契約(プラン)に応じて自由に決められる	契約(プラン)に応じて自由に決められる	可(ライフプランに応じて見直し可)

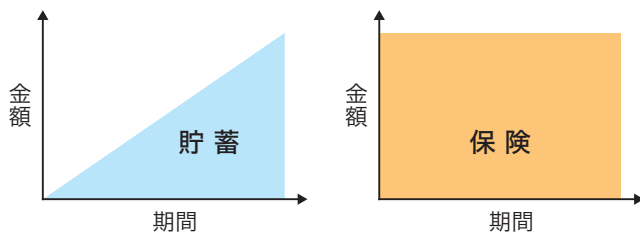
2 民間保険の仕組みとは？

リスクは、「長寿」といった、一見すれば良いと思われるようなところにも潜んでいます。例えば、長生きによる老後資金不足や病气やケガ、介護、認知症などです。そのため、これらのリスクへの備えはとても大切であり、リスクへの対策をすることを**リスク管理(リスクマネジメント)**といいます。

リスクに備えるためには、リスクが発生した場合にかかる支出や減った収入などの経済的損失を、**貯蓄**でまかなうのか、**保険**を活用するのか、前もって考えておかなければなりません。

この2つを的確に表現した「**貯蓄は三角、保険は四角**」という言葉があります。

貯蓄の場合、コツコツお金を積み立てることでお金が増えていきます。時間とともに貯蓄は増え、金額は右肩上がりの「三角形」となります。保険の場合、加入直後から契約期間を通して保障・補償は一定で、安定した「四角形」です。



そういえば、家族が突然入院が必要になったときに入院給付金が出て助かったって言ってたっけ。



Think! 貯蓄と保険のメリット・デメリットを考えてみよう。

	貯蓄	保険
メリット		
デメリット		

3 民間保険の種類

法律によって、民間保険は、3つの分野に分かれています。第一分野は生命保険会社、第二分野は損害保険会社、第三分野は生命保険会社・損害保険会社がそれぞれ商品を取り扱っています。

若いうちでも、病気やケガで病院にかかるリスクはゼロではありません。また、自転車に乗っていて誰かにケガを負わせたり、旅行中に盗難に遭ったりする可能性もあります。

まずは、自分が加入している公的保険でどの程度カバーできるのかを確認し、その上で、不足するようなら自分に必要な民間保険は何かを考えて加入するとよいでしょう。

第一分野 (生命保険)	死亡や病気・ケガのリスクに備える (人を対象)
第二分野 (損害保険)	家が焼けたり、車の事故で人や物に損害を与えるといった偶然起きた事故や災害のリスクに備える (人・物を対象)
第三分野 (傷害保険・医療保険など)	介護や就業不能、死亡や病気・ケガなどのリスクに備える



ミニワーク

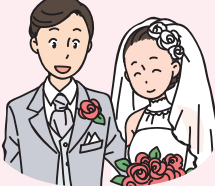
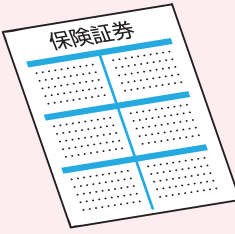
今起こったら経済的に困ることを挙げ、それにはどのような経済的リスクが発生するか考えてみよう。また、その損失に対し、保障・補償が受けられる保険を調べてみよう。

V ワーク「人生のライフプランを想像してみよう！」

みなさんの人生は、まだ始まったばかりです。これから、進学や就職、転職、結婚、出産、マイホーム購入など、さまざまなライフイベント（人生の節目となる出来事）が起きます。そして、それぞれのライフイベントには、お金がかかる（支出がある）場合がほとんどです。一方で、就職して働けば給与がもらえますし、公的保険や民間保険から保障や給付が受けられるなど、入ってくるお金（収入）もあります。みなさんが選んだライフイベントの選択肢によって、家計の収支が大きく変わる可能性があることを、次のシートに記入して実感してみましょう。なお、このシートは18年間のライフイベントを簡略に示したものです。

就職してからの18年間で何が起きるかな？

①自分が選ぶプランのチェックボックス□にチェックを入れよう。

社会人1年目	社会人8年目	社会人9年目	
イベント1：就職する	イベント2：結婚する	イベント3：保険に入る	
収入 就職する <input type="checkbox"/> 給与収入 <u>300万円</u> × 7年間	収入 <input type="checkbox"/> 結婚する <input type="checkbox"/> 2人とも働き続ける $300万円 \times 11年間 \times 2人$ <input type="checkbox"/> 1人だけ働く <u>300万円</u> × 11年間 <input type="checkbox"/> 結婚しない <u>300万円</u> × 11年間		
支出 <input type="checkbox"/> 生活費(22歳～39歳まで) $2,160万円$ <small>(結婚するまでの7年間 1カ月10万円)</small> 支出 <input type="checkbox"/> 一人暮らしをする 上記の生活費に上乗せ $504万円$ <small>(結婚するまでの7年間 1カ月6万円)</small> <input type="checkbox"/> 実家から通う 上記の生活費に上乗せ <u>0円</u> 支出 奨学金(日本学生支援機構・貸与型) <input type="checkbox"/> 利用した(返済額) $307万円$ <input type="checkbox"/> 利用しなかった <u>0円</u>	支出 <input type="checkbox"/> 結婚する <input type="checkbox"/> 生活費を上乗せ $660万円$ <small>(1カ月5万円とする)</small> <input type="checkbox"/> 結婚式を挙げる $330万円$ <input type="checkbox"/> 賃貸住宅で二人暮らしをする $1,296万円$ <small>(家を買うまでの9年間 家賃は1カ月12万円)</small> 支出 <input type="checkbox"/> 結婚しない <input type="checkbox"/> 一人暮らしをする $648万円$ <small>(家を買うまでの9年間 家賃は1カ月6万円)</small> <input type="checkbox"/> 実家から通う <u>0円</u> 	30～39歳までの保険料 $320万円$ (30歳～39歳) 支出 <input type="checkbox"/> 加入する $320万円$ <input type="checkbox"/> 加入しない <u>0円</u> 	

②自分が選んだプランの収入と支出を計算してみよう。


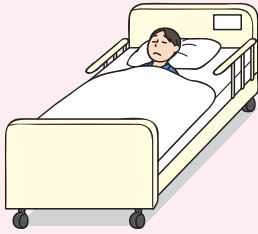
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">収入 の合計</p> <p>給与収入…………… 万円</p> <p>出産育児一時金…… 万円</p> <p>児童手当…………… 万円</p> <p>医療保険の給付金… 万円</p> <p style="text-align: right;">_____万円</p> </div>	-	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">支出 の合計</p> <p>生活費…………… 万円</p> <p>一人暮らし………… 万円</p> <p>奨学金の返済……… 万円</p> <p>結婚費用…………… 万円</p> <p>保険料…………… 万円</p> <p>子ども費用………… 万円</p> <p>住宅購入/賃貸……… 万円</p> <p>入院費用…………… 万円</p> <p style="text-align: right;">_____万円</p> </div>	=	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">差し引いた後の残高</p> <p style="text-align: right;">_____万円</p> </div>
--	---	---	---	--

結婚して、保険に入って、
子どもがいて、家も買って…。
給料だけで
やっていけるのかなあ。

この表に出ている
こと以外にも、
海外留学とか旅行とか、
いろいろしてみたいな!

こんな先のことは
わからないよー。
なんとかなるんじゃない!?



社会人12年目	社会人17年目	社会人18年目
イベント4：出産	イベント5：家を買う	イベント6：病気になる
収入 <input type="checkbox"/> 出産育児一時金 <u>50万円</u> <input type="checkbox"/> 児童手当 <u>90万円</u> 0歳～6歳 所得制限対象外の場合		収入 医療保険の給付金 (※イベント3：30歳で保険に加入した場合のみ) <input type="checkbox"/> <u>50万円</u>
子ども費用630万円 (0歳～6歳までの費用：1人の場合) 支出 <input type="checkbox"/> 子ども0人の場合 <u>0円</u> <input type="checkbox"/> 子ども1人の場合 <u>630万円</u> 1人当たりの子ども費用(主な内訳) ・妊娠出産費用 ・生活用品費 ・保育料・教育費 ・医療費	住宅価格：3,500万円 支出 <input type="checkbox"/> 家を買う <u>940万円(38歳～39歳)</u> 内 頭金：700万円 住宅ローン返済月10万円 <input type="checkbox"/> 賃貸住宅に一定期間住む <u>288万円</u> (家賃は月12万円とする) <input type="checkbox"/> 家を買わない(実家) 0円	支出 <input type="checkbox"/> 入院費用 <input type="checkbox"/> <u>20万円</u>
		

※収支や支出の各金額は各種調査を基に日本FP協会作成

残高がマイナスになってしまった場合は、プランの見直しが必要です。

残高がプラスになっても、旅行や家電買い替え、マイカー購入などのお金がかかる場面に備えておくといいでしょう。また、緊急時の備え(緊急資金)として、生活費の3カ月分程度を用意しておくとう安心です。

